

26年 4月 8日.

日本包装管理士会関西支部

関西支部主催「第56回ミニセミナー」の報告

開催日時 : 3月25日(水) 15:40~18:00

開催会場 : 大阪市立総合生涯学習センター 第4研修室

- ・「第56回会員無料ミニセミナー」には会場22名、リモート2名 計24名の方に参加いただきました。昨年開催されました「大阪・関西万博」は累計入場者数2,500万人を突破し、盛況の内に終了しました。今回は企業展示されました3企業様に各展示企業の展示内容、取り組みについてお話を伺いました。
- ・アスカカンパニー(株)前川様には「アスカカンパニーが大阪・関西万博で伝えたかったこと」のテーマで大阪ヘルステクアパビリオン「バイオプラスチックREBORN」への出展のきっかけ、制約が多い展示ガイドライン・展示で工夫した内容等についてのお話と環境問題の中、バイオプラスチックの近未来を表現し、プラスチックは自然と共生する素材であることをPRした展示についてご紹介いただきました。
- ・サラヤ(株)新谷様には「大阪・関西万博で加速する海洋プラスチック問題への取り組み」のテーマで、万博では「BLUE OCEAN DOME」で循環経済の取り組み内容を展示。また海洋ごみが漂着、その約70%がプラと推測され、その量は年々増えている国境の島、長崎県対馬市と「循環経済モデル」の研究開発に関する連携協定を締結した説明と海洋プラ回収、マテリアルリサイクルした原料を使用した“消毒ディスペンサー”や海洋プラを配合した“ディスペンサー(カートリッジボトル付)”商品開発の苦労話をご紹介頂きました。
- ・(株)高木包装・高木様には「未来に繋ぐ段ボールの可能性」のテーマで、関西万博・ライフフューチャーヴィレッジパビリオンで使用される展示台の開発についてお話頂きました。大きな開口部の屋根がある半屋外会場で32インチのモニター(9kg)を入れて184日間使用できる段ボール製展示台を開発、強化3層&2層段ボールを使用、100個のパーツを組み上げることで、大屋根リングをイメージさせる独創的な曲線形状と強度を確保したプラや金属を使用しないリサイクル可能な組立式ディスプレイについてご紹介頂きました。
- ・3テーマとも参加者(会場、Web)から活発な質問が飛び交い、25年度最後のセミナーは大いに盛り上がりました。

◆アスカカンパニー(株) 前川講師



◆サラヤ(株) 新谷講師



◆(株)高木包装 高木講師



◆交流会 高木講師を囲んで



◆交流会 新谷講師を囲んで



◆交流会参加の皆様

